

2016年4月10日 主日礼拝

プレイズ
奏 楽
使徒信条
賛 美 聖歌399番「カルバリ山の十字架」
(愛する天のお父様)

聖 書 ルカによる福音書 23章32～43節(新約p131)
音 楽 WINGS

メッセージ 「主の十字架」
柴田順一牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金)
主の祈り
祝 禱

「その時、イエスは言われた、
『父よ、彼らをおゆるしくください。
彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。』」
(ルカ二十三の三十四)

【町田ニュース】

- 先週から午前礼拝になりました。毎週10分前から賛美が始まります。
- 昨日は、「回復キャンプ(前半)」がなされました。感謝です。
- 火曜日、**早天祈祷会**で大塚師が説教。お祈りください。
- 今日は午後1時15分から「**回復キャンプ(後半)**」がなされます。
- 今週も祈祷会を大切に！水曜夜と木曜朝(Y)。説教は坪井副牧師。
- 準備祈祷会は金曜夜9～10時半(Y)。説教は石橋補教師。
- 土曜の**リバイバル祈祷会**は午前11～12時。自由に祈ることができます。
- 土曜午後3時、**召天者記念礼拝**が相模メモリアルパークで行われます。
- 来週から、日曜午後1:15分より「**二つの翼・養育クラス**」が始まります。テキストを今日お渡しします。予習できる方は予習をしましょう。
- 今週も聖書を貪るように読みましょう。新約は1章。旧約は3章ずつ。



焔の中の宝物

美術は人と異なったことをして褒められることはあっても叱られることはありません。(北川フラム)

だれをも「一」と捉え、それ以上とも以下とも考えないこと。これは民主主義の原則だ。しかしここで「一」は同質の単位のことではない。一人一人の存在を違うものとして尊重すること。人をまとめ、平均化し、同じ方向を向けさせようとする動きを、美術は敏感に察し、それに抗(あらが)う。越後妻有(つまり)や瀬戸内の芸術祭に取り組んできたアートディレクターの「ひらく美術」から。

上の文章は朝日新聞の「折々のことば」の引用です。

先日、家族で千葉の南房総に行ってきました。フラワーパークでは、色とりどりのポピーやストックなどが一面に広がっていて、「花摘み」をすることができました。花は様々な色があるから楽しいです。最近のランドセルや車を見てもいろんな色があって楽しいですね。それでいて、統一感もあります。

教会には「多様性における統一」があります。神様は多様性を好まれるお方です。海のお魚を見ても面白いデザインのものがたくさんありますね。多様性は豊かさでもあります。ひとりひとは、過去も性格も風貌もみな違います。神様との出会いとドラマもそれぞれ違います。それは素晴らしい宝ものです。

しかし、教会は不思議な「統一感」があります。それは教会は、「キリストの体であって、ひとりひとは各器官なのです(I コリント12の27) 」とある通りで、それぞれ異なる器官であっても、同じキリストの体だからです。

町田カルバリーは多様性を大切にするとともに、頭なるイエス様によってひとつとなる教会です。「違いの分かる男」とはコーヒーのCMですが、「違いが分かる」だけではなく、「違いを楽しむ」教会でありたいと思います。

今、教会では回復キャンプがなされています。また、新たな素晴らしい神様とのドラマが生まれて来ることでしょう。期待しましょう。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ルカ12章～15章 Bコース:サムエル上4章～21章